

2023年 6月30日

守山市長 森中 高史 様

住 所 守山市赤野井町330

団体名 赤野井歴史の会

代表者氏名 谷口喜久

## 守山市豊かな市民活動のまち応援事業認定団体登録申請書

認定団体として登録を受けたいので、守山市豊かな市民活動のまち応援事業補助金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて申請します。

団体名（ふりがな）	赤野井歴史の会（あかのいれきしのかい）		
主たる事務所	所在地 〒524-0061 守山市赤野井町330		
担当者連絡先	氏名（ふりがな） さなだ よしゆき 眞田 善之		
	電話番号 077-585-2490	FAX 番号 なし	
	E-Mail <a href="mailto:Sanadanchi@zd.ztv.ne.jp">Sanadanchi@zd.ztv.ne.jp</a>	連絡希望手段・時間帯 平日 9:00～16:00	
ホームページ	なし		
団体設立年月日	2021年4月14日	会員数	13名
活動目的	赤野井の歴史を研究して、その研究成果を守山市民や地元の人に伝えることを通して、魅力あるまち、地域づくりの一助とする。		
事業概要	月1回の定例会で赤野井町に眠る歴史的事象を調査研究し、その成果を報告する赤野井町の歴史探訪講座を年2回、公開例会年1回程度実施する。		
登録要件	<input checked="" type="checkbox"/> 認定団体の登録要件（守山市豊かな市民活動のまち応援事業補助金交付要綱第6条）をすべて満たしている		
目標寄附額 （初年度）	354,000円（初年度総事業費 185,000円）		

## 認定団体登録事業計画書

活 動 場 所	赤野井自治会館・赤野井町内・守山市内・市立図書館等
解決したい地域の現状や課題	<p>赤野井町内にある「未指定文化財」や赤野井自治会館に眠る「古文書」や「古地図」「高札」がほとんど知られることなく保管されている。</p> <p>また、昭和初期から戦中、終後、高度経済成長期における人々の暮らしや生きざまの記録が少なく、語り継ぎも滞っている。</p>
<p>今後の事業予定</p> <p>（市ホームページに掲載する文章として記入ください） 《600文字以内》</p> <p>※複数の事業を行う場合は、優先順位の高い順に記載してください。</p>	<p>毎月第1水曜日の午後1時30分～3時30分の例会や研修会の開催</p> <p>4月・・・事業計画策定                      5月・・・研修：守山市公文書館</p> <p>6月・・・戦争体験の聞き取り調査        7月・・・研修：幻の寺院の変遷</p> <p>8月・・・公開例会 テーマは「戦争体験談と銃後の日常」</p> <p style="text-align: center;">講師：滋賀県平和祈念館職員</p> <p style="text-align: center;">戦争遺品やアルバム等の展示とフィールドワーク</p> <p>9月、10月・・・常照寺と村瀬家（庄屋）古文書の研究</p> <p>11月・・・第7回赤野井歴史探訪講座（大庄屋諏訪家まつり協賛）</p> <p style="text-align: center;">「赤野井と大庄屋諏訪家屋敷や常照寺、村瀬家（庄屋）の古文書」</p> <p style="text-align: center;">室町期から江戸時代までの赤野井の歴史を古文書から紐解く、赤野井の歴史</p> <p style="text-align: center;">講師：未定</p> <p>12月、1月・・・古道と水運の研究・研修</p> <p>2月・・・第8回赤野井歴史探訪講座（守山市立図書館）</p> <p style="text-align: center;">「古地図から見える赤野井と中山道、琵琶湖水運」（仮題）</p> <p style="text-align: center;">古地図から見えてくる赤野井への人や物の流れを推測する</p> <p style="text-align: center;">講師：未定</p> <p>3月・・・1年間のまとめと次年度に向けての課題検討</p> <p>本会で得た情報を小学校等に「語り部の会」を通して随時発信して、小さい時から地元の歴史に興味を持つ子どもの育成に協力をする。</p>

期待される効果	<p>地域に眠る歴史文化や言い伝えを調べ、歴史探訪講座としてわかりやすく地域住民に伝えることにより、まちづくりに興味を持ち、地域活性化への起爆剤となることが期待される。</p>
事業実施体制	<p>今までの2年間で6回の講座開設の実績を通して、赤野井の歴史が「今日にも通じるような何か」を見つけ出す機会となりつつある。</p> <p>調査研究体制を充実するため、講座開設を年2回とし、例会時に他地域への視察、研修も取り入れる。</p> <p>また、公開の例会を年1～2回実施し、新たな会員の獲得をめざす。</p> <p>自治会や大庄屋諏訪家屋敷との連携を密にし、広く地域住民に研究成果や資料展示を発表する。(大庄屋諏訪家祭りの協賛イベントとして、本会研究成果を発表する場を設ける。)</p> <p>代 表 : 谷口 喜久            副代表: 酒井 信次  事務局長: 眞田 善之        監 査: 美濃部六郎  会 員: 13名</p>
事業のPR方法 (寄附の獲得)	<p>赤野井自治会のホームページや市の広報に本会の活動やイベント情報を掲載してもらう。</p> <p>有線放送を通じて、イベント情報等を発信する。</p>
自立的・継続的に活動していくための工夫	<p>守山市文化財保護課や公文書館、赤野井自治会や大庄屋諏訪家屋敷、守山市立図書館等と連携して本活動を展開する。また、矢島歴史の会や他に同様の活動をしている団体や守山市ボランティア観光ガイド協会等とも連携し、本会で得た様々な情報を発信し、団体同士の交流を深める。</p> <p>県内各地で制作されている「心象絵図」(滋賀県立大学 上田洋平先生考案)を作成する準備をし、会員相互の達成感や充実感を得る取り組みを始める。</p>
申請事業に対する補助金や委託料等財源確保の取組み	<p>2021年 守山市民提案型まちづくり支援事業助成金で活動</p> <p>2022年 守山市民提案型まちづくり支援事業助成金で活動</p>

様式第3号（第7条関係）

事業収支予算書（2024年4月1日～2025年3月31日）

【収入】

科目	内 訳	金 額
補助金	守山市豊かな市民活動のまち応援事業補助金	補助目標額 177000 円
自己資金 (会費等)		0 円
事業収入 (受益者負担金)	講座参加費（200円×20人×2回）	8000 円
その他		円
収入合計		185000 円

【支出】

科目	内容 ・ 積算根拠	経 費	
		対象外経費	対象経費
人件費		円	円
報償費	講師謝礼 20,000円・手土産 9,000円	円	29000 円
旅費交通費	講師打ち合わせガソリン代	円	2000 円
消耗品費	印刷代、チラシ、事務用品	円	48000 円
印刷製本費	資料印刷代、チラシ、パネル制作費	円	100000 円
食糧費及び食材費	戦時食づくりの食材費（出汁、麦、野菜：20人分）	円	5000 円
光熱水費		円	円
通信運搬費	郵便費（封書、はがき5通、冊子類の送付など）	円	1000 円
手数料		円	円
保険料		円	円
委託料		円	円
使用料及び賃借料		円	円
材料費		円	円
その他		円	円
支出合計		円	185000 円

※年度毎にわけて記入してください。

様式第3号（第7条関係）

事業収支予算書（2025年4月1日～2026年3月31日）

【収入】

科目	内 訳	金 額
補助金	守山市豊かな市民活動のまち応援事業補助金	補助目標額 177000 円
自己資金 (会費等)		0 円
事業収入 (受益者負担金)	講座参加費（200円×20人×2回）	8000 円
その他		円
収入合計		185000 円

【支出】

科目	内容 ・ 積算根拠	経 費	
		対象外経費	対象経費
人件費		円	円
報償費	講師謝礼（20,000円）・手土産（9,000円）	円	29000 円
旅費交通費	講師打ち合わせガソリン代	円	2000 円
消耗品費	印刷代、チラシ、事務用品	円	48000 円
印刷製本費	資料印刷代、チラシ、パネル制作費	円	100000 円
食糧費及び食材費	戦時食づくりの食材費（出汁、甘藷、麦、20人分）	円	5000 円
光熱水費		円	円
通信運搬費	郵便費（封書、はがき5通、冊子類の送付など）	円	1000 円
手数料		円	円
保険料		円	円
委託料		円	円
使用料及び賃借料		円	円
材料費		円	円
その他		円	円
支出合計		円	185000 円

※年度毎にわけて記入してください。

様式第3号（第7条関係）

事業収支予算書（2026年4月1日～2027年3月31日）

【収 入】

科 目	内 訳	金 額
補 助 金	守山市豊かな市民活動のまち応援事業補助金	補助目標額 177000 円
自己資金 (会費等)		0 円
事業収入 (受益者負担金)	講座参加費（200円×20人×2回）	8000 円
その他		円
収 入 合 計		185000 円

【支 出】

科 目	内 容 ・ 積算根拠	経 費	
		対象外経費	対象経費
人件費		円	円
報償費	講師謝礼（20,000円）・手土産（9,000円）	円	29000 円
旅費交通費	講師打ち合わせガソリン代	円	2000 円
消耗品費	印刷代、チラシ、事務用品	円	48000 円
印刷製本費	資料印刷代、チラシ、パネル制作費	円	100000 円
食糧費及び食材費	戦時食づくりの食材費（出汁、甘藷、麦、20人分）	円	5000 円
光熱水費		円	円
通信運搬費	郵便費（封書、はがき5通、冊子類の送付など）	円	1000 円
手数料		円	円
保険料		円	円
委託料		円	円
使用料及び賃借料		円	円
材料費		円	円
その他		円	円
支 出 合 計		円	185000 円

※年度毎にわけて記入してください。

## 赤野井歴史の会 会則

### (名称及び目的)

第1条 本会は、赤野井歴史の会と称し、赤野井の歴史研究活動を主体として活動し、あわせて、子どもたちや地元住民への歴史的事象や事物に目を向ける機会を設けることを目的とする。

### (事業)

第2条 本会は、第1条に規定する目的を達成するために、次の事業を行う。

- 1 月1回の定例会議
- 2 年3回の赤野井町歴史探訪講座の開設
- 3 その他目的達成に必要であると認めた事業の実施

### (構成員)

第3条 本会の構成員は本会の目的に賛同する者とする。

### (役員)

第4条 本会に、会長1名、事務局長1名、会計1名及び会計監査1名を置き、定例会において、構成員の互選により定める。

### (役員任期)

第5条 役員任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 役員に欠員が生じた場合は、速やかに後任を選出する。後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

### (会議)

第6条 本会は次の会議を置くものとする。

- 1 定例会
- 2 役員会

### (経費)

第7条 本会の経費は会費及びその他の収入をもって充てる。会費は年1,000円とする。

### (会計年度)

第8条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年の3月31日に終わる。

### (その他)

第9条 当該会則に定めるもののほか必要な事項は、役員会で決定し、定例で承認を得なければならない。

### 附 則

この会則は令和3年5月12日から発効する。

# 赤野井歴史の会

赤野井歴史の会とは・・・

令和3年4月14日に発足し、「赤野井の歴史を調べて、町内の人や子どもたちに伝えること」を目標に10名の有志が毎月1回例会を開いています。守山市歴史整理まちづくり支援事業に応募し、2年連続採択されました。実施する事業は「魅力あるまち 赤野井歴史無加減」を年3回実施することです。

第4回講座の子ラジ(下記)を町内全世帯に配布

会場の様子(下記)

**歴史探偵 赤野井ミステリー**

興味！ 赤野井の歴史 赤野井の町

赤野井自治会 赤野井歴史の会

赤野井自治会 赤野井歴史の会

赤野井自治会 赤野井歴史の会

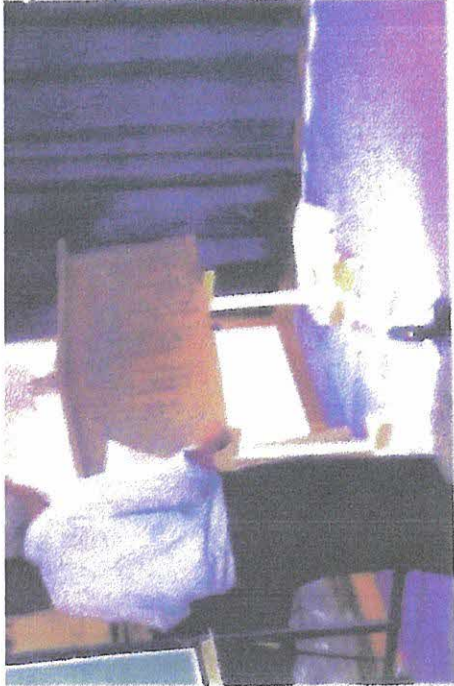
赤野井自治会 赤野井歴史の会

赤野井自治会 赤野井歴史の会



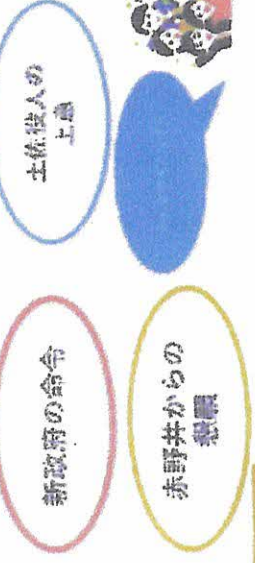
<参加者15名>

ヒントを写してください  
井上ひろ美先生



赤野井自治会館に開いていた徳川15代将軍「幕閣」通財の高札の説明

さでさで これが赤野井の歴史のミステリー  
なぜ 赤野井の歴史が赤野井にあるのか・・・???



「資料にもとづく話で納得力がありました。地方の集会所にこのような貴重な資料が眠っていることを知り驚きました。今日は本当に良い朝の見方を教えていただきました。ありがとうございます。」

第5回講座は令和5年1月15日(日)に開催 赤野井の古地図から「赤野井の繁栄のあしあと」に迫る！！